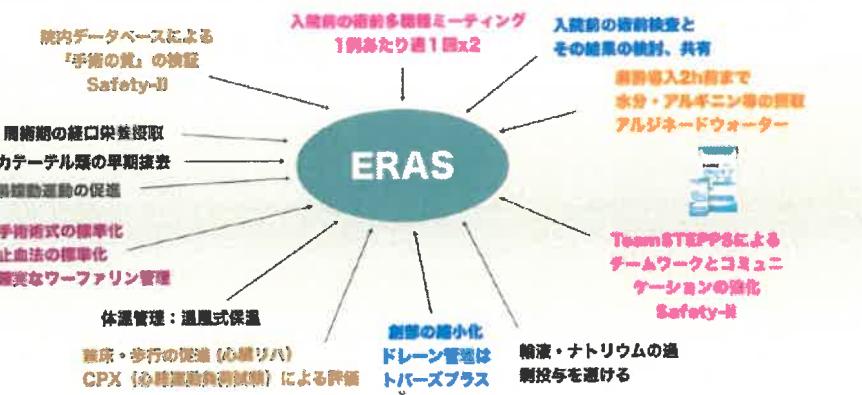


ERASには、さまざまな取り組みが含まれます。

2005年に欧州で提唱された大腸切除に対するERASプロトコルが始まりで、当科では2010年から積極的に取り組んでいます。

2010年以降、当科で実践しているERASプロトコル



心臓血管外科☆健康講座

ERASとはEnhanced Recovery After Surgeryの略号で、「手術後の回復を促進する取り組み」のことです。患者さんが早く回復できるよう様々なサポートをしています。

岩手県立中央病院心臓血管外科では、身近な医療の情報を解説した健康講座を県民の皆さんに提供します。第33号は「術後の回復促進：ERAS（イーラス）」です。



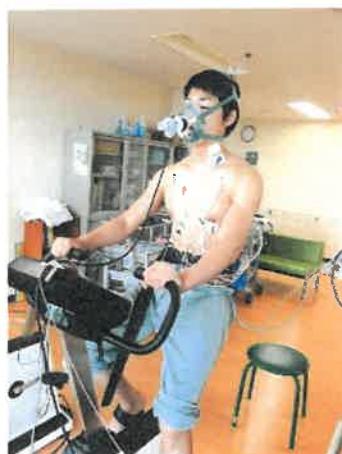
アルジネードウォーター

手術というと、以前は前日の21時から飲まず食わざが当たり前でした。お腹を空っぽにするためだったようです。しかし、患者さんにしてみれば、喉は乾く、お腹は空く、不安は募る、何もいいことはありませんでした。現在は、手術室入室時刻の2時間前まで水分を飲んでいただいています。また、キズの治癒を促進し感染を防止するアルギニン、微量元素の亜鉛、銅などを豊富に含んだ炭水化物含有飲料



デジタル式吸引装置

「トバーズプラス」



CPX

心肺運動負荷試験

「アルジネードウォーター」を前日、当日朝に飲んでいただいています。これにより、術中の脱水が防止され、不安が軽減、術後のキズの治りにもいいわけです。

術後は翌日からリハビリが開始されます。理学療法士が患者さんの回復に応じて的確なメニューを設定し、ドレーンが入った状態でも安全に進めています。当科で採用しているデジタル式の吸引装置はリハビリ時も倒れることがなく、安心です。

また、術後の心機能、回復状態の評価のために、CPX（心肺運動負荷試験）を実施することもあります。これにより、データに基づいたライフスタイルの提案が可能となっています。

そのほか、当科では、患者さんの安心安全な術後の回復をサポートするために、全ての心臓血管外科手術の術式標準化、医療安全のための有用な技術「TeamSTEPPS」の活用、従来の手術と比較して患者さんの負担の少ない治療法の積極的な導入などに取り組んでいます。

患者さん自身にも自分の病気や治療を理解していただき、病気の治療に積極的に参加していただけるように「心臓血管外科★健康講座」を公開しました。ぜひご活用ください！

岩手県立中央病院心臓血管外科

健康講座 第33号